平成26年度　広島市立祇園中学校　シラバス（年間学習計画）　　国語科（　1年　）

月	週		時数	主な目標	重要観点	評価方法	指導法の工夫	学習のアドバイス
4	2～4	言葉に出会うために 野原はうたう（詩）	6	・中学校での国語学習の見通しをもとう。 ・表現の特徴について、自分の考えをもとう。	③ ④		・音読や話し合いなど、グループでの表現活動	・声の出し方や間の取り方、発音などを工夫して音読してみよう。
		■情報を正確に聞き取ろう	1	・情報を正確に聞き取り、要点を押さえてメモに取ろう。	②		・日常生活に沿った話題を取り上げる。	・質問することで、内容の確認や助言をしよう。
		■書き留める ■本と出会う ■調べる	3	・本やインターネットなどから必要な情報を集めるための方法を身につける。 ・日常生活の中からテーマを決め、材料を集めながら自分の考えをまとめる。	③ ④ ③			
5	1～4	にじの見える橋（物語） ■漢字を確認しよう	5	・登場人物の気持ちを表す表現や、場面の展開に注意して読み、作品の理解を深めよう。	④ ⑤		・自分の経験を想起しながら読み取る。	・主人公の気持ちや行動に傍線を引いてみよう。
		■話し言葉と書き言葉 ■季節のしおり　春	2	・話し言葉と書き言葉の違いについて考え、それぞれの特徴を理解しよう。 ・伝統的な言語文化に親しもう。	⑤ ⑤		・日常生活での用いられ方を取り上げる。	・日時や相手などの情報ごとに比べて整理しよう。
		友達をみんなに紹介しよう（対話・紹介	3	・聞き違いや思い込みに注意して、相手の話を正確に聞き取ろう。	②		・要点のメモや紹介したい事柄を整理する。	・聞き手の反応を考えながら、相手の良さを伝えよう。
		ダイコンは大きな根？（説明文）	3	・身近なものについて説明された文章を読み、文章の中で使われている言葉の意味や内容をとらえよう。	④		・段落の役割に着目しながら文章を読む。	・初めて知ったことをノートに書き、筆者の説明の工夫を考えてみよう。
6	1～4	ちょっと立ち止まって（説明文） ■段落のまとまりを意識して書こう ■漢字を確認しよう	6	・本文を読んで、興味や関心を持ったところを確認し合おう。	③ ④ ⑤		・本文と図を対応させ筆者の主張を読み取る。	・図や資料を見て、おもしろさを考えてみよう。
		わかりやすく説明しよう（説明）	3	・伝える目的や相手を明確にして情報を集めよう。	③		・フローチャートで相手に伝わるよう内容を整理したり、構成を考える。	・相手に何をどう伝えたいのか。目的や事柄をはっきりさせよう。
		■スピーチ名人になろう	1	・自分の思いや考えを分かりやすく伝えるために、構成を考え、聞き手を意識して話そう。	②		・相互評価シートで、スピーチの振り返りを行う。	・自分が伝えたかったことと、相手の反応の違いを考えよう。
		■漢字の組み立てと部首	2	・漢字の組み立てと部首を理解しよう。	⑤		・イラストの活用や、部首の仲間分けを行う。	・部首は漢字の意味や働きを表す。漢和辞典を活用しよう。
		はじめての詩（詩・解説） ■詩四編	3	・文章を読んで、語句の意味を的確にとらえ、筆者の文学の言葉に対する考え方に触れ、自分なりの考えをもとう。	④		・鑑賞プリントで詩の良さや表現の特徴、作者の思いを見つける。	・音読や詩の表現からその詩の良さを味わったり、自分の好きな詩を思い出してみよう。
		言葉を集めよう（言葉） ■推薦文を書こう	2	・観点を決めて多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材とした推薦文を書こう。	③		・イメージマップの活用や班での話し合い活動。	・好きなものや連想からテーマを決めその良さを相手に伝えよう。
7	1～3	■文法への扉1	2	・言葉の単位とその働きについて理解しよう。	⑤		・音読活動や間違い探しゲーム	・読み聞かせをイメージして、意味のまとまりを見つけよう。
		おいしい読書（読書活動） ■情報コラム① ■情報コラム② 雪とパイナップル（読書） 江戸からのメッセージ（読書） ■読書案内	4	・本から情報を集めるための方法を身につけ、目的に応じて必要な情報を読み取ろう。 ・伝えたい内容に合わせて、引用して紹介しよう。	④	中間テスト 期末テスト 漢字小テスト 暗唱 音読 文章表現活動 表現活動 スピーチ 提出物 ・二百字帳 ・プリント ・ワーク ・ノート 授業態度 ・話し合い ・発表 ・忘れ物	・これまでの生活を振り返って、自分の考え方やものの見方に影響を与えた読書体験を思い出す。班での話し合い活動も交える。	・自分の考えやものの見方が読書によって、変わったことはないか。情報を整理して、友達にその本のおもしろさや魅力を分かりやすく紹介しよう。
		■季節のしおり　夏		・伝統的な言語文化に親しもう。	⑤			
9	1～4	星の花が降るころに（物語）	5	・文脈の中の言葉に注意ながら、情景を想像して作品を読もう。	④		・人物の心情記述や、登場人物相関図の作成を班の交流と交えて行う。	・自分の友達関係を振り返り、同じような経験をしたことがないか、そのとき何を感じたか、共感的に読んでみよう。
		大人になれなかった弟たちに…（物語） ■漢字を確認しよう	4	・時代や状況の中で自分を見つめ、生き方を深めていくことの大切さを考えよう。	④ ⑤		・今と昔の違いを、時代背景を整理して考える。	・資料や写真を参考に、戦争について想像しながら読んでみよう。 ・作者のメッセージを考えよう。
		■指示する語句と接続する語句	2	・指示する語句と接続する語句の働きについて理解しよう。	⑤		・前後の文のつながりや、関係で働きを考える。	・これまでに学習した文章を読み直し、指示する語句や接続する語句の働きを考えてみよう。
10	1～4	項目を整理して伝えよう（案内）	4	・伝える事柄・目的・相手に応じて、項目の組み立て方を考える。	③		・具体的な行事を設定し班で発表交流	・身近な案内文を参考に、分かりやすく伝える工夫を読み取ろう。
		シカの「落ち穂拾い」（記録） ■図表を添えて日記を書こう ■漢字を確認しよう	5	・記録の文章を読み、内容や考え方で興味や関心を持ったところを確認しよう。	③ ④ ⑤		・実際に記録の文章を書いてみることで、事実が考察の根拠となり、説得力が増すことを実感する	・説得力のある文章には、図表や調査の記録といった客観的な事実は欠かせません。実際の例を雑誌や新聞記事で確認しよう。
		■流れを踏まえて話し合おう	1	・話し合いの話題や方向をとらえて放したり聞いたりしよう。	② ⑤		・実践、発表の役割分担をし、話題が深まったかを振り返る。	・聞き上手になって、相手のいい意見を取り上げよう。
		■季節のしおり　秋		・伝統的な言語文化に親しもう。	⑤			
		音読を楽しもう　いろは歌（古文・音読）	1	・仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れよう。	⑤		・暗唱テストの練習で、古文の響きや調子を体感する。	・古文を難しく感じさせる歴史的仮名遣い。理解への近道は、とにかく読み慣れること。声に出して、自然に読めるようになろう。
		七夕に思う（古文・解説）	1	・古い時代から現代まで、さまざまな古典作品が読み継がれてきたことを知ろう。	④ ⑤		・現代との共通点を探す	
		蓬莱の玉の枝（古文）	1	古典の文章（文語文・古文）を読み、興味や関心をもってその世界にふれよう。	④ ⑤		・場面ごとに登場人物の行動や心情を整理する	・なぜ現代も読みつがれるのか。かぐや姫の気持ちを想像しよう。
11	1～4	今に生きる言葉（漢文） ■漢文を読む	2	・中国の古典に由来する言葉が、今も生活の中に生き続けていることを知ろう。	④ ⑤		・日常生活の言葉を用いて、漢文を読んでみる。	・なるほど、と思わされる故事成語を探し、おもしろさを考えよう。
		■故事成語を使って体験文を書こう	2	・自分の生活を振り返り、故事成語を使って体験文を書こう。	③		・四コマ漫画の作成	・自分の経験を振り返ろう。
		話題をとらえて話し合おう（討論・報告）	5	・話題や議論の流れを的確にとらえて話し合おう。	②		・話し合いメモの事前作成	・話し合いの目的を考えよう。
		■文法への扉2	2	・文節同士の関係、連文節、文の組み立てについて理解しよう。	⑤		・誤った順番の文を作る	・主語一述語の関係を理解しよう
		流氷とわたしたちの暮らし（説明） ■具体例を示して書こう ■漢字を確認しよう	7	・文章から新しく得た情報をもとに、自分の考えを広げよう。 ・文章の中心となる部分とそれを支える部分を読み分け、筆者の述べていることを読み取ろう。	③ ④ ⑤		・初めて知った情報を整理し自分の知識と区別する。	・知っている環境問題を取りあげ説明することの難しさを実感してみよう。
12	1～4	調べたことを報告しよう（報告）	4	・集めた情報を工夫して整理しよう。 ・分かりやすく伝えるために、書き方や構成を工夫しよう。	③ ⑤		・経過報告を発表して、レポートの構成を推敲する。	・自分の興味のあることをどうしたら相手に伝えられるか、整理してみよう。
		■漢字の音訓	1	・漢字の音と訓について理解しよう。	⑤			
1	2～4	少年の日の思い出（小説） ■別の人物の立場で書こう ■漢字を確認しよう	7	・作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもとう。 ・場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりをとらえよう。	③ ④		・生活体験の振り返り ・CD朗読を聴いて、情景描写や登場人物の人となりを考える。	・じっくり読んで、登場人物それぞれの思いを考えてみよう。 ・少年と同じような「思い出」を経験したことはないだろうか。
2	1～4	■さまざまな表現技法	2	・言葉の並べ方の工夫や比喩（たとえ）について理解しよう。	⑤		・これまでに学習した内容を振り返り効果を考える。	・これまでに学習した表現技法を思い出してみよう。
		感じたことを文章にしよう（鑑賞）	4	・観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力が伝わるように文章にまとめよう。	③		・構成メモで相手や目的を明確にし、観点を整理する	・自分の好きな絵画や彫刻、どうすれば相手に伝わるだろう。
		■文法への扉3	3	・単語の分類について理解しよう。	⑤		・単語カードを利用し作文	・「～て」は一文節、なぜだろう？
		■季節のしおり　冬		・伝統的な言語文化に親しもう。	⑤			
3	1～3	言葉を探検する（報告・説明）	6	図表やキャッチコピーなどを効果的に用いて、調べたことを分かりやすくまとめよう。	② ③		・連想ゲームで、ものの見方が多様なことを知る。	・日常生活で気になる言葉、
		■漢字の成り立ち	2	・漢字の成り立ちについて理解しよう。	⑤		・イラストでゲーム、クイズ	・「左」「右」書き順はなぜ違う？
		木は旅が好き（詩）	3	・詩の中の言葉や表現を、作者の思いを想像しながら読み味わおう。	④		・生活体験を振り返って、「旅」を定義してみよう。	・作者が木にたくした思いを考えてみよう。
計			120					

※書写配当20時間は、学校行事および受業進度との兼ね合いを見ながら随時行うこととする。

観点　①関心・意欲・態度　②話すこと・聞くこと　③書くこと　④読むこと　⑤言語事項　※観点①は、全ての単元において評価する。